

支出項目

政務活動費

調査研究費

No.1

29 月	年 日	内容	支出額 (円)	累計額 (円)
8	1 2 3	行政視察 (北海道石狩市、江別市、苫小牧市)	76,230	76,230
		合計	76,230	

政務活動報告書

平成29年8月14日

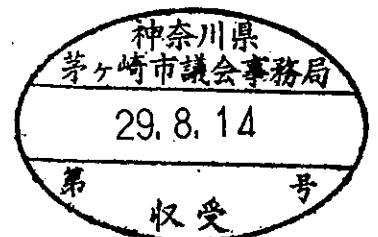
茅ヶ崎市議会議長
白川 静子 様

(会派名) 茅ヶ崎太陽の会
(氏名) 須賀 徳郎

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	平成29年8月1日(火)から8月3日(木)まで
目的 地 (研 修 地)	北海道苫小牧市・江別市・石狩市

政務活動の結果(別紙のとおり)



茅ヶ崎太陽の会視察報告書

日 時：平成29年8月1日（火）～8月3日（木）

場 所：苫小牧市

内 容：国際観光都市に向けたまちづくり

所 感：人口172601人（H29年.3.31）面積561.57km²と広大な自然に囲まれた苫小牧市は、王子製紙やトヨタを有したナショナルカンパニーを柱とした産業、工業が発展した市である。しかし、そのような苫小牧市でも、少子高齢化が進行し医療、福祉コストの増加と財源としての税収減につながり市民生活水準の低下を招く恐れが課題となってくる。また、札幌では、人口が増え一方で苫小牧市では、人口の自然減や若年層の市外への流出また、世界経済の影響もあり経済産業の停滞も招いている。こういった負の連鎖を断ち切る為、新たな産業の柱として苫小牧の豊かな観光資源を活かせないか、そして、経済成長の好循環に転換できないかという観光業のポテンシャルの見直しが始まった。また、政府も2020、2030年を目指し観光産業を新たな基幹または成長産業として訪日外国人観光客数需要を増加させ、観光立国を目指すとの動きをみて、^も小牧も本格的に予算をつけ調査を開始するようになった。そして、2016年12年にIR推進法が公布され推進法2条に則りカジノ施設だけではなく、ノンゲーミング施設（会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、宿泊施設、その他の観光の振興に寄与する施設）が一体となった総合施設を目指すことを目的とした市民セミナーを開始した。

同等セミナーは、単にカジノをつくるだけではないものを趣旨とした苫小牧市民に理解をもとめるセミナーであり、また、IRに対する疑問や効果、複合施設の中でカジノが本当に必要なのか等をやりとりする場を年10回もっていく。そういった中から抽出された課題

を検討しより具体的にどういうものを苦小牧としてつくるか？ということがこれからの段階だそうだ。また、近隣観光資源と I R の連携による効果についてもこれから広域連携も具体化していくそうであるので正直まだ手探り状態であると感じた。また、民設民営であるため、事業者に対する投資意向や実現可能性を含め乗り越えていくハードルはまだまだあると感じた。同時にそういったことを苦小牧市民にたいしてわかりやすく示しながら施設のコンセプトや依存症対策などのリスク対策を具体的に示しいいのか悪いのかの判断材料もつくっていくことが重要であると感じた。こういった状況をふまえ我が市を考えた場合、近隣の横浜市から話が湧きあがっているだけでもし正式に話が進行していけば近隣都市として影響は考えるべきである。茅ヶ崎市としても公共施設インフラの老朽化や将来の更新費の増加を考えれば近隣市として相乗効果があるもの考えることは有効ではないかと考える。例えば民間に企業等のミーティングの会議場や宿泊施設等など。ただしまだこの議論は早すぎであり課題もありうる故に絵に描いた餅になりうるののでまずは、近隣市動向を注視することが大切だと感じた。

場所：江別市

内容：江別の顔づくり事業

所感： 江別市は、札幌のベットタウンとして人口 11 万 9 千人を要し 4 つの大学等の教育機関や研究機関があり、100 年以上の製造歴史をもつレンガ工場も平成 16 年に北海道遺産として認定を受け石狩川を有する水と緑に囲まれた都市である。江別の課題として市内に 5 か所の駅があるが、都市の顔となるような中心性が高い地域が形成されないまま発展した経緯がある。その為、江別の新しい中心市街地として野幌駅を中心とする約 240 ha の区域を都心地区とし都市を中心とした南北市街地の一体化を目指し J R 函館本線との連続立体交差事業や環状道路の形成など 4 つの事業を柱に掲げた。事業構成都市としては、連続立体交差事業は総事業費として 144 億円と一番費用を要するが 129 億円、国・道・J R からあり江別の持ち出しは 16 億円となっており、この事業の完成により南北の交通渋滞の解消やまちの発展や利便性の向上がはかれたことは大きな要因であると考え。財政的なウエートはどこも一緒に大きな影響を及ぼし調査したい事もあったが、今回は中心となる街の事業づくりで

あり都市機能の充実や賑わいのある都心づくりとしては商業等活性化事業の部分で野幌駅周辺を活性化させるため、商店街をはじめ中心市街地として魅力を増やすことが重要であり、その為に地域交流活動と商店街の連携を軸に、住民、事業者、行政などの共通指針として地元商工 3 団体が事務局となって駅周辺の地区を活性化させるための協議会を設立し商店街や地域、行政などが一体となって活性化に取り組んでいることが事業の成功の要因と感じた。わが市をみると中心市街地の確立はできているとしても中身は課題が見えてきているのではないかと感じる。例えば、駅周辺の商店街の活性化や茅ヶ崎駅を中心として市内にある相模線沿線の駅周辺の活性化等々、おのおの推進しているが事業を成功させる為の鍵をもっと調査研究していくことがもっとも重要であると感じた。

場所：石狩市

内容：石狩市民図書館

所感：平成 29 年 3 月時点で 58831 人を有する石狩市は気候が日本海に面している為、春季冬季ともに南東北西の強風を強く受けることはあるが、海洋性気候で寒暖差は小さいところで本市と若干似ているところはあると感じた。平成 12 年 6 月に完成した石狩市民図書館は総事業費 29 億 5 千万。当初から、まちの中に図書館をつくるのではなく、図書館の中にまちをつくる事をコンセプトとして現在年間約 24 万人の来場者がおり 55 万点の貸出、本館及び 3 分館、職員体制は館長、副館長、主査以下 6 名非常勤 22 名（本 10 分 6 学校 8）臨時 1 名で構成されている。分館は花川南、八幡、浜益コミュニティーセンターに学校図書館は厚田小学校内。特徴としては段差がなく誰でも利用が可能であり貸し出し数に上限がなく自動貸し出し機を有し閲覧の室内は飲み物は可能で閲覧スペースが多く、最初に述べたように写真展や絵画展、作品展などを開催し図書館の中にまちをつくらうとする意識が高かった。視察中にも写真展が開催されていた。他にもコンサートを開催したり、科学実験室が常設されており、地場産の買い物コーナーもあり多くの市民の交流の場ともなっている。また、こどもの学びを支援するブックスタートや資料提供も行い友好図書館として輪島市や名取市とも協定しており、人材交流を結び文化を学ぶ機能としても貢献している。そして、市内イベント等に図書館が出向いて出前貸出も行い、市内に 5 か所の返却

場所を設け、市内のボランティアが図書修理や布の絵本を製作し子どもたちに見て触って楽しめるような作品づくりもおこなっている。また同時に利用者の期待にこたえる蔵書も増加させており参考になる点が多くあった。特に図書館の機能をこえた様々な企画や展示をおこなって市民の憩いの場となっている点では本市でも検討の価値はあるのではないかと感じた。

領収証

茅ヶ崎太陽の会様

No. 2577

★ ￥24,000.-

但し宿泊費(朝食付)12000円×2泊分

2017年6月26日 上記正に領収いたしました

内訳

振込	￥24,000.-
カード	

株式会社 旅コレクション

- 横浜店 〒231-0015 横浜市中区尾上町3-3-5 横浜第一有楽ビル5階
TEL. 045-680-5499 FAX. 045-680-5493
- 湘南店 〒253-0056 茅ヶ崎市共恵1-1-4 宝家ビル4階
TEL. 0467-85-6923 FAX. 0467-83-9294

検印	発行者

収入
印紙

領収証

茅ヶ崎太陽の会様

No. 2578

★ ￥34,100.-

但し旅費として(航空料金を往復)

2017年6月26日 上記正に領収いたしました

内訳

振込	￥34,100.-
カード	

株式会社 旅コレクション

- 横浜店 〒231-0015 横浜市中区尾上町3-3-5 横浜第一有楽ビル5階
TEL. 045-680-5499 FAX. 045-680-5493
- 湘南店 〒253-0056 茅ヶ崎市共恵1-1-4 宝家ビル4階
TEL. 0467-85-6923 FAX. 0467-83-9294

検印	発行者

収入
印紙

出張旅費計算書

パック旅行

摘要	茅ヶ崎太陽の会 会派視察 (北海道石狩市、江別市、苫小牧市) (政務活動費)		出張者 氏名	須賀 徳郎		
期日	平成29年8月1日～3日 2泊3日		随行者 氏名			
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎—横浜 (JR東海道本線)	1	1	29.8	980		3,110
横浜—羽田空港国内線ターミナル (京急本線エアポート急行)			20.7			
羽田空港—新千歳空港 (国内線)			821.0	0		
新千歳空港—南千歳 (JR千歳線)			2.6	680		
南千歳—苫小牧 (JR千歳線)			27.2			
苫小牧—北広島 (JR千歳線)			49.4			
北広島—札幌 (JR千歳線)			21.8	1,450		
札幌—江別 (JR函館本線)	1	1	21.0	450		900
江別—札幌 (JR函館本線)			21.0	450		
北5条西1丁目—石狩庁舎前(東) (中央バス)	1		69.0	400		2,920
石狩庁舎前(東)—手稲駅北口 (中央バス)			8.2	330		
手稲—新千歳空港 (JR函館本線)			57.2	1,210		
新千歳空港—羽田空港 (国内線)			821.0	0		
羽田空港国内線ターミナル—横浜 (京急本線エアポート急行)			20.7	980		
横浜—茅ヶ崎 (JR東海道本線)			29.8			
計	3	2	2,020.4	6,930	0	(A) 6,930
日当	3 日 × @ 2,400			(B)		7,200
パック旅行	飛行機代・宿泊料 / 2泊(朝食付)			(C)		1泊朝食付 58,100
夕食代	2 日 × @ 2,000			(D)		4,000
合計	(A)+(B)+(C)+(D) 人					
	76,230	×	1	=		76,230

出張旅費計算書

摘要	茅ヶ崎太陽の会 会派視察 (北海道石狩市、江別市、苫小牧市) (政務活動費)		出張者 氏名	須賀 徳郎			
期日	平成29年8月1日～3日 2泊3日		随行者 氏名				
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)	
茅ヶ崎—横浜 (JR東海道本線)	1	1	29.8	980		31,400	
横浜—羽田空港国内線ターミナル (京急本線エアポート急行)			20.7				
羽田空港—新千歳空港 (国内線)			821.0	28,290			
新千歳空港—南千歳 (JR千歳線)			2.6	680			
南千歳—苫小牧 (JR千歳線)			27.2				
苫小牧—北広島 (JR千歳線)			49.4	1,450			
北広島—札幌 (JR千歳線)			21.8				
札幌—江別 (JR函館本線)	1	1	21.0	450		900	
江別—札幌 (JR函館本線)			21.0	450			
北5条西1丁目—石狩庁舎前(東) (中央バス)	1		69.0	400		25,510	
石狩庁舎前(東)—手稲駅北口 (中央バス)			8.2	330			
手稲—新千歳空港 (JR函館本線)			57.2	1,210			
新千歳空港—羽田空港 (国内線)			821.0	22,590			
羽田空港国内線ターミナル—横浜 (京急本線エアポート急行)			20.7	980			
横浜—茅ヶ崎 (JR東海道本線)			29.8				
計	3	2	2,020.4	57,810	0	(A) 57,810	
日当	3	日×@	2,400	(B) 7,200			
宿泊料	2	日×@	12,000	(C) 1泊朝食付 24,000			
夕食代	2	日×@	2,000	(D) 4,000			
合計	(A)+(B)+(C)+(D) 人		93,010 × 1	=	93,010		